

信州大学医学部附属病院 消化器外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年6月4日

「膵頭部癌門脈合併切除例における血管切除範囲・再建法とその治療成績の検討―日韓多施設共同研究―」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4765
研究課題名	膵頭部癌門脈合併切除例における血管切除範囲・再建法とその治療成績の検討―日韓多施設共同研究―
所属(診療科等)	消化器外科
研究責任者(職名)	副島雄二(教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2020年12月31日
研究の意義、目的	本試験により、門脈切除範囲やその再建法とその治療成績を明らかにします。これにより難治性癌である膵癌の治療成績向上に繋がる可能性があると考えております。
対象となる患者さん	2013年1月1日から2016年12月31日の期間に当院で門脈合併切除膵頭十二指腸切除術を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、手術所見、術後経過など
他機関への試料・情報の提供方法	CD-Rに記録された情報を書留郵送にて送付します。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、門脈合併切除膵頭十二指腸切除術の合併症率や予後について検討します。
共同研究機関名	日本肝胆膵外科学会の高度技能専門医 認定修練施設(A、B) 128 施設 韓国肝胆膵外科学会の会員施設 10 施設
研究代表者	主任施設の名称:東京医科大学 消化器・小児外科学分野 研究責任者:永川 裕一
問い合わせ先	清水 明(信州大学医学部外科学教室 消化器・移植・小児外科学分野 講師) 電話:0263-37-2654

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である**東京医科大学 消化器・小児外科学分野**に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。